

授業科目 視覚聴覚二重障害

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
前田 晃秀		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GI0】 「目も見えなくて、耳も聴こえない」、そんなヘレン・ケラーのような状態の人は、わが国に1万3千人程存在すると推計されている。本講義では、疑似体験やビデオの視聴などをとりいれながら、視覚聴覚二重障害（盲ろう障害）の実態や背景、盲ろう者のコミュニケーション手段や具体的な支援方法などを学んでいく。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1) 視覚聴覚二重障害者のコミュニケーション面における支援技法を理解・習得し、適切な支援を行えるようにする。 2) 国家試験で出題される視覚聴覚二重障害関連の設問を取りこぼさないよう、過去問等の演習をもとに、出題傾向の要点を押さえる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス				講義
2	「盲ろう障害概論」				講義
3	「盲ろう者のコミュニケーション方法1」（触覚）				講義・実習
4	「盲ろう者のコミュニケーション方法2」（視覚・聴覚）				講義・実習
5	「盲ろうの病理と生理」				講義
6	「盲ろう児・者の教育と福祉」				講義
7	「タイプ別盲ろう者の評価と対応」				講義・演習
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		盲ろう者への通訳・介助	社会福祉法人全国盲ろう者協会	読書工房	2008・1,680円
その他の資料		当日配布する資料をもとに講義を進める。			
【評価方法】 期末試験、レポート			【履修上の留意点】		